横浜市総合保健医療センター

指定管理者選定評価委員会報告書

令和2年8月

横浜市総合保健医療センターの指定管理者の選定にあたり、横浜市総合保健 医療センター指定管理者選定評価委員会(以下「委員会」という。)は、申請要 項、業務の基準、評価項目・基準を作成するとともに、申請団体から提出され た申請書類及び申請団体へのヒアリングによる審査を行いました。

この度、指定候補者を選定しましたので、ここにその結果を報告します。

1 委員会における選定の手順

委員会では、申請団体である現指定管理者から提出された書類の審査を行うとともに、申請団体からの提案説明を受け、委員による質疑等を行いました。

その後、委員による意見交換、審議を経て各委員の採点を確定し、公益財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者として選定することの可否を審議しました。

2 選定結果

委員会において厳正な選定審査を行った結果、公益財団法人横浜市総合保 健医療財団を指定候補者として選定しました。

3 得点

横浜市総合保健医療センター指定管理者申請者採点集計表

	項目	評価点				
1	1 総合的な基本方針・達成目標					
	(1) 指定管理者としての基本方針・達成目標	63				
2	事業計画	278/325				
	(1) 診療所の運営に関する事業計画	44				
	(2) 介護医療院の運営に関する事業計画	44				
	(3) 介護老人保健施設の運営に関する事業計画	46				
	(4) 精神障害者支援施設の運営に関する事業計画	83				
	(5) 安全管理についての考え方	19				
	(6) 各施設の連携についての考え方	21				
	(7) その他の事業計画	21				
3	職員配置・育成	83/100				
	(1) 職員の確保、配置及び育成	83				
4	施設の管理運営	207/250				
	(1) 施設及び設備の維持保全及び管理	44				
	(2) 清掃・外溝植栽管理・環境衛生及び廃棄物処理業務	26				
	(3) 個人情報保護・情報公開への取組	39				
	(4) 市民サービス、業務水準の向上	39				
	(5) 指定管理中の収支計画	20				
	(6) 収入確保に向けた取組	20				
	(7) コスト削減に向けた取組	19				
	631/750					

※得点率84% (631点÷750点)

4 講評

委員会としての講評 (評価コメント) は次のとおりです。

- 職員の確保・育成について、診療所、介護老人保健施設、精神障害者支援施設とそれぞれ専門性が異なる部門を抱えており、研修などもそれぞれの事業特性に応じたものが必要となる。提案書にもっと詳しく書くべきだったかと思う。
- 地域に向けた講演会の実施や、関係機関との連携について、もっと具体性をもって提案してあると公の施設としての意味が増してくる。精神障害者の地域移行などもより具体性をもって取り組まれると良い。
- 総合保健医療センターは黒字だが、財団の運営する他の事業がマイナス となっており、収入に見合った費用を意識するなど、コスト意識を持った 運営をしていってほしい。
- 公の施設として、地域や周囲の民間事業所からの期待は高い。精神障害 のある高齢者の受入れなど、公が率先して取り組むべきこと。地域の中核 的な施設として期待している。
- 公的な地域の指導的施設としての役割に期待している。 新型コロナウイルスの流行が続いており、感染予防対策はもちろんだが、 医業収入の減少が予想されるため、コスト面でもしっかりと取組んでいた だきたい。

5 選定の経過

(1) 第1回委員会 5月22日(金)

(2) 申請団体決定のお知らせ 6月8日(月)

(3) 申請書類に関する質問の受付 6月15日(月)から6月19日(金)まで

(4) 申請書類に関する質問の回答 6月26日(金)

(5) 申請書類の受付 7月7日(火)

(6) 第2回委員会 7月27日(月)

6 委員会の開催状況

(1) 第1回

議題	1 委員長の選出			
	2 会議の公開について			
	3 申請要項について			
	4 業務の基準について			
5 評価項目及び評価基準について				
日 時	令和2年5月22日(金)18時30分から19時30分まで			
開催場所	横浜市役所(新市庁舎)18階共用会議室みなと5			
出席者	工藤委員、浅川委員、戸髙委員、村山委員			
欠 席 者	r 者 沖野委員			
決定事項	1 工藤委員を委員長に選任した。			
	2 第1回は引き続き公開、第2回は非公開とした。			
	3 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。			
	4 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。			
	5 事務局から案を説明後、審議し、事務局案にて確定した。			

(2) 第2回

議 題	1 プレゼンテーション				
	2 ヒアリング				
	3 採点				
	4 審査及び指定候補者選定				
	5 選定結果報告書				
日 時	令和2年7月27日(月)18時00分から20時30分まで				
開催場所	横浜市総合保健医療センター講堂				
出席者	工藤委員長、浅川委員、沖野委員、戸髙委員、村山委員				
決定事項	1 申請団体からのプレゼンテーションを行なった。				
	2 委員から申請団体に対するヒアリングを行った。				
	3 各委員の採点結果を合計し、最終得点を決定した。				
	4 公益財団法人横浜市総合保健医療財団を指定候補者とす				
	ることを決定した。				
	5 事務局から案を説明後、審議し、最終稿の原案は委員長				
	に一任することとした。				

7 評価項目及び評価基準(配点は委員1人あたり)

	評価項目	内容		配点	<u></u>	採点の基準	
1	1 総合的な基本方針・達成目標						
(1)	指定管理者として の基本方針・達成 目標	総合保健医療センターの管理運営にあたって指定管理 者としての基本方針・達成目標	5	×3	15	5…特に優れた基本方針と達成目標が明確に示され、実現性が大いに認められる 4…優れた基本方針と達成目標が示され、実現性が認められる 3…基本方針と達成目標が示され、実現性がほぼ認められる 2…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい 1…基本方針と達成目標に抽象的・不明確な点があり、実現性を認めにくい	
2	事業計画	20点満点×1項目+10点満点×3項目+5点満点×3項目=65点満点					
(1)	診療所の運営に関す る事業計画		5	× 2			
(2)	介護医療院の運営に 関する事業計画	・公の施設としての役割を踏まえた取組 ・利用者満足度向上のための取組 ・施設の稼働率向上のための取組	5	× 2			
(3)	介護老人保健施設 の運営に関する事業 計画	・地域医療への支援	5	× 2		5…計画内容が特に優れており、利用者等に提供するサービス等の水準は大いに高いものと認められる 4…計画内容が優れており、利用者等に提供する	
	精神障害者支援施 設の運営に関する事 業計画	等についての具体的な計画	5	×4	65	サービス等の水準は高いものと認められる 3…標準的な計画内容であり、利用者等に提供 するサービス等の水準は中程度のものと認めら れる	
(5)	安全管理についての 考え方	事故防止等、医療・介護の安全性の確保	5	× 1		2…計画は具体性、実現性に欠ける点があり、利 用者等に提供するサービス等の水準はやや低い	
(6)	各施設の連携につい ての考え方	診療所、介護老人保健施設、精神障害者支援施設等の 相互の連携についての考え方、具体的な連携方法	5	× 1		1…計画は具体性、実現性に欠ける点が多く、利用者等に提供するサービス等の水準は低い	
(7)	その他の事業計画	要援護者に対する相談、情報提供等の実施、講習会等の開催、研修生・実習生の受入れなど、要援護者支援の一環として行う事業の計画及び自主事業の計画など	5	× 1	-		
3	職員配置·育成		<u> </u>				
(1)		必要な職員の確保と適正な配置及び育成について、勤 務体制や業務分担、研修計画など	5	×4	20	5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、 実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認 められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認め られる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があ り、実現性を認めにくい 1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多 く、実現性を認められない	
4	施設の管理運営					10点満点×3項目+5点満点×4項目=50点満	
(1)	施設及び設備の維持 保全及び管理	利用者が施設を快適・安全に利用するための、施設及び 設備の保守管理に関する考え方	5	× 2		5…特に優れた考え方と具体策が明確に示され、 実現性が大いに認められる 4…優れた考え方と具体策が示され、実現性が認 められる 3…考え方と具体策が示され、実現性がほぼ認め られる 2…考え方と具体策に抽象的・不明確な点があ り、実現性を認めにくい	
(2)	清掃・外溝植栽管 理・環境衛生及び廃 棄物処理業務	清掃、外溝植栽管理計画、環境衛生管理及び廃棄物処 理業務について、作業頻度、作業内容、体制など	5	×1			
(3)	個人情報保護・情報 公開への取組	個人情報の保護に対する取組みや、法人の運営状況等 の公開など	5	× 2			
(4)	市民サービス、業務水準の向上	市民サービスのあり方、業務水準の向上、施設のPR、利用促進策、モニタリング等についての具体的計画	5	× 2	50		
(5)	指定管理中の収支計画	令和3年度から7年度までの指定管理経費(管理運営費-施設運営収入)の考え方、目標及び年次計画	5	×1		1…考え方と具体策に抽象的・不明確な点が多く、実現性を認められない	
(6)	組	利用料金を中心とした収入増を実現するための具体的方策及び年次計画		×1			
(7)	コスト削減に向けた 取組	コスト削減、効率的運営のための具体的方策及び年次計 画	5	× 1			

8 横浜市総合保健医療センター指定管理者選定委員会委員(50音順・敬称略)

氏 名	所 属 等
浅川 明子	元 横浜創英短期大学 教授 看護学科 学科長
沖野 智子	日本公認会計士協会神奈川県会 公認会計士
◎工藤 行夫	中山病院 院長 昭和大学医学部 客員教授
戸髙洋充	社会福祉法人藤沢ひまわり 理事長
村山 洋史	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 専門副部長

^{◎…}委員長